

2021年6月23日

株主の皆様へ

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 野崎 明

第96期定時株主総会の議案および当社経営に関するご質問等に対する回答について

2021年6月3日付「新型コロナウイルス感染症に関する当社の対応について」にてご案内申し上げましたとおり、6月25日（金）に開催予定の第96期定時株主総会における感染防止対策のひとつとして、総会当日の会場においてご質問をいただくことの代わりに、株主総会の議案や当社経営に関するご質問を6月17日（木）まで電子メールにて受け付けておりました。

頂戴いたしましたご質問等のうち、株主の皆様のご関心の高い事項について下記のとおり回答いたします。当社の対応にご理解ご協力をいただき、また、質問をお寄せいただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

記

ご質問等 1：2022年3月期の連結業績予想の上方修正見直しについて
回答：例年どおり、上期見直しについては8月上旬、通期見直しについては11月上旬に公表する予定です。見通しの前提となる今後の金属価格につきましては、足元の水準を考慮の上で将来の需給バランスを予測して設定し、為替につきましても経済や金融政策の動向を踏まえて設定してまいります。
ご質問等 2：当社が参加している独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）のコバルトリッチクラストの採掘試験について
回答：我が国周辺における深海鉱物資源の資源ポテンシャルを踏まえた国の海洋エネルギー・鉱物資源開発計画に従い、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）はコバルトリッチクラスト開発調査を進めており、当社は資源会社としての役割を果たすべく参画しております。ご質問の採掘試験につきましては2020年8月に発表されたもので、将来の資源開発に向けた前進と考えております。JOGMECによれば、試験海域に相当量の資源ポテンシャルが見込まれることから貴重な国産資源となることが期待されております。当社では今後とも引き続き本件事業に参画してまいります。
ご質問等 3：㈱サイコックスの状況について
回答：2017年10月に㈱サイコックスの株式を51%取得し、貼り合わせSiC（シリコンカーバイド）の開発を行っております。SiCは、主に電力を制御する用途で使用され

る半導体材料です。特にハイブリッド車や電気自動車などの駆動制御装置で要求される大容量領域（大電流・高耐電圧）において、エネルギーの損失を低減できる優れた材料として、今後、市場の拡大が見込まれています。現在は数社のお客様にサンプル評価をさせていただいており、良好な評価を得ている状況です。お客様の量産製造用に採用いただけるよう、引き続き取り組んでまいります。主用途として期待されている電気自動車向けの販売開始は、2025年頃を目指しております。

以上